

主要産地における令和2年産水稲の生育状況等について 第5報 (6月16日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部(令和2年6月16日)

道府県	生育状況等		(参考)	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋) 令和2年度の品種構成等の情報
北海道	(生育)	<p>【生育状況(6月1日現在)】</p> <p>(全道) 移植作業は平年並に終了した。移植後の苗の活着は並。(北海道農政課 6月2日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月2日付)</p> <p>(渡島) 移植作業は平年並みに行われたが、5月4、5半旬に移植したほ場では、低温日照不足の影響で活着に時間を要している。(渡島総合振興局 6月2日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、移植作業も平年並に終了した。(空知総合振興局 6月2日付)</p> <p>(石狩) 遅速は「早しい」、低温、強風による葉の黄化や葉先枯れが見られる。(石狩振興局 6月2日付)</p> <p>(釧路) 生育は概ね平年並で推移、移植作業も概ね平年並で終了。(釧路振興局 6月2日付)</p> <p>(後志) 遅速は2日早い。(後志総合振興局 6月2日付)</p> <p>(日高) 移植後の低温・日照不足により、生育は遅れ気味である。(日高総合振興局 6月2日付)</p> <p>(上川) 生育は、平年並に推移している。(上川総合振興局 6月2日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月2日付)</p> <p>(オホーツク) 移植作業は平年並に進んでいる。生育も平年並である。(オホーツク総合振興局 6月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並、日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は、平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・主要品種に大きな変動はないものの、直播栽培に適した新品種「すみま」が増加する見込み。</p> <p>(農林水産省 3月17日)</p> <p>(以下同じ)</p>
青森	(生育)	<p>【6月10日現在の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つがるのロマン」は草丈が31.5cmで平年より0.9cm長く、株当たりの茎数は4.6本で2.9本少なく、葉数は5.9葉で平年並。 ・「青天の霹靂」は草丈が35.2cmで平年より1.1cm長く、株当たりの茎数は5.0本で3.2本少なく、葉数は4.3葉で0.4葉少なかった。 ・「まっしぐら」は草丈が35.6cmで平年より1.0cm長く、株当たりの茎数は4.9本で4.1本少なく、葉数は5.4葉で0.3葉少なかった。 <p>(青森県 6月11日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「つがるのロマン」「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向になり、令和2年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
岩手	(生育)	<p>【6月5日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業研究センター(北上)では、全品種とも草丈は平年よりやや短く、葉数は平年を下回っている。茎数は、「ひとめぼれ」は平年を上回り、「あきたこまち」、「鏡河のしずく」は平年を下回っている。 ・東北農業研究所(軽米)では、草丈は平年よりやや長く、葉数は平年並みで、茎数は平年を下回っている。 <p>(岩手県 6月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県では「ひとめぼれ」「あきたこまち」からオリジナル品種「鏡河のしずく」に転換を図ることとしている。</p>
宮城	(生育)	<p>【6月10日現在】【県全体の平均】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は27.7cm(平年比97%)、1㎡当たりの茎数は210本(平年比89%)、葉数は6.9葉(平年差+0.1枚)となっている。 ・5月中旬の低温により、生育が遅れつつあるが、6月に入ってから気温が高い日が続いたことにより回復傾向にある。(宮城県 6月11日付) <p>(大崎) 6月10日調査。5月6半旬より気温と日照時間が平年を上回ったことで生育がやや回復したが、草丈と茎数は平年を下回った。(大崎農業改良普及センター 6月11日付)</p> <p>(美里) 6月10日調査。気温が上昇し、生育は順調に進んでいる。(美里農業改良普及センター 6月12日付)</p> <p>(栗原) 6月10日調査。平年(過去5年)と比べて、前回調査(6/1)では「8日程度遅れ」となっていたが、6月に入ってから気温が高い日が続いたことにより「2日程度遅れ」まで短縮した。田植日が平年並~早いほ場では、茎数が平年並~上回っている。田植日が平年より遅いほ場では、茎数が平年をかなり下回っている。現在の生育状況が、収量・品質に悪影響を与えることはない。(栗原農業改良普及センター 6月12日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「萌えみのり」「だて正夢」はやや増加傾向にある。</p>
秋田	(生育)	<p>(由利) 6月10日の水稲定点調査結果によると、草丈は27.6cmで平年よりやや長く(平年比103%)、㎡あたり茎数は220本で平年より多く(平年比109%)、葉数は6.4葉(平年+0.2葉)。(6月12日付)</p> <p>(秋田) 6月10日の調査では、あきたこまちは生育は、草丈が24.9cm(平年比96%)と平年よりやや低い、茎数は144本/㎡(同92%)と平年よりやや少ない、葉数は5.5葉(平年差+0.1葉)と平年並で分けつが発生が緩慢。(6月12日付)</p> <p>(山本) 6月10日の水稲定点調査によると、草丈は平年(直近10年平均)の105%、㎡あたり茎数は94%、葉数は+0.2。</p> <p>(平鹿) 6月10日現在の水稲定点調査(あきたこまち11か所)では、草丈24.1cm(平年比105%)、茎数は119本/㎡(同107%)、葉数は6.9葉(同差+0.2葉)となっている。(6月12日付)</p> <p>(鹿角) 6月10日の水稲定点調査では、草丈27.6cmでやや長く(平年比106%)、㎡あたり茎数は228本で多く(平年比123%)、葉数は6.4葉でほぼ並(平年差+0.2)。(6月12日付)</p> <p>(北秋田) 田植え作業は平年並に進み、ほぼ終了。直播きでは低温の影響により芽出しが遅くなっている。(6月5日付)</p> <p>(仙北) 5月25日現在の管内の水稲移植作業進捗状況は、進捗率70.0%(平年69.6%)。(5月29日付)</p> <p>(雄勝) 田植えの終期は5月31日。平年の6月1日より1日早い生育となっている。(6月5日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないものの、「めんこいな」「ゆめおここ」等の多収性品種が増加傾向となり、一定のウエイトを占めてきた。</p>
山形	(生育)	<p>(西村山) 【雪若丸】生育は概ね順調。圃場間の生育較差が大きく注意が必要。(西村山農業技術普及課 6月15日付)</p> <p>(鶴岡田川) 【つや姫】調査圃場では、茎数は指標並みを確保しており、葉数は並みで、生育の進み具合もほぼ順調。草丈は並み、葉色は並み~やや濃く推移している。(庄内総合支庁 6月15日付)</p> <p>(東南山村) 【つや姫、雪若丸】水稲の生育(6月10日現在)は、適切な水管理が行われた圃場で順調に進んでいる。(村山農業技術普及課 6月12日付)</p> <p>(西置賜) 【雪若丸】6月10日調査。生育診断ほ場の生育は、指標値に比べ草丈が長く、茎数が並、葉数が多く、葉色がやや濃い状況。葉数の進捗で考えれば茎数は不足している。また管内のほ場では、田植えの時期や、水管理の状況によりほ場間差が大きく、一部のほ場では茎数不足となっている。(西置賜農業技術普及課 6月12日付)</p> <p>(北村山) 【雪若丸】調査圃場の生育は、草丈は短いものの、茎数は指標より多く、生育は順調。(北村山農業技術普及課 6月12日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(生育)	<p>・6月9日現在の農業総合センターの生育調査では、各調査場所とも草丈がやや短く、本部(郡山)と浜地域研究所(相馬)の茎数が少なく、会津地域研究所(会津坂下)の茎数が多くなっている。コシヒカリの主稈葉数からみた生育は、本部(郡山)、会津地域研究所(会津坂下)で平年並み、浜地域研究所(相馬)で平年より1日遅くなっている。</p> <p>(福島県農林水産部農業振興課 6月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「天のつば」が増加傾向となっている。</p>
茨城	(生育)	<p>【水稲の生育状況(6月9日現在、水戸市)】</p> <p>(5月1日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」2日程度早い、「ふくまる」平年並、「コシヒカリ」平年並。</p> <p>(5月11日移植・対平年遅速) 「コシヒカリ」平年並。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月11日付)</p> <p>【水稲の生育状況(5月27日現在、龍ヶ崎市)】</p> <p>(4月24日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」1日遅い、「ふくまる」1日遅い、「コシヒカリ」3日遅い。</p> <p>(5月7日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」3日遅い、「コシヒカリ」3日遅い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「ふくまる」がやや増加傾向にある。</p>
栃木	(生育)	<p>【6月8日生育調査】</p> <p>(1) コシヒカリ ・草丈は高く(平年比116%)、茎数は多く(144%)、葉数は0.3葉多く、葉色は0.3濃い。 ・葉齢から判断して、生育は平年より2日程度進んでいると考えられる。生育診断値(葉色×茎数)は平年比133%と大きい。 ・現地調査ほ場は茎数2930~649本/㎡とバラツキが大きい。</p> <p>(2) とちぎの星 ・草丈は38.2cmで平年比110%と高く、茎数は641本/㎡で平年比127%と多い。葉数は7.9葉で平年より0.1葉少ない。 ・葉色は3.8で平年より0.8濃い。 ・葉齢から判断すると、生育は平年並と考えられる。生育診断値(葉色×茎数)は2,453で平年比106%と大きい。</p> <p>(栃木県 6月11日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日~7月12日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。なお、オリジナル品種「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>

生育状況等			
千葉	<p>【6月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月第4～5半旬の気温低下と日照不足の影響を受け、一時的に生育が停滞したが、その後回復傾向にある。 4月補えの「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」の生育は平年並み、「粒すけ」はやや遅れているが、いずれも中干しを始める時期に入っている。 <p>(千葉県 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ふさこがね」「ふさおとめ」を中心とする品種構成であり、近年「ふさこがね」が増加傾向にある。
新潟	<p>【6月10日現在の生育状況】</p> <p>【コシヒカリ】 指標値に比べ、草丈は「やや長い」、葉数は「多い」、葉数の進みは「早い」、葉色は「並」。</p> <p>【新之助】 指標値に比べ、草丈は「並」、葉数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「並」。</p> <p>【こしいぶき・つきあかり】 調査ほ場(長岡市)では、いずれも指標値より葉数が多く、生育量は十分確保されている。(新潟県 6月11日付)</p> <p>(三 条) 高温・多日照が続いていたことから生育が進んでおり、コシヒカリの葉数は近年の中でも多い方で、指標値をかなり超えている。(三条農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(長 岡) コシヒカリは生育が早まり、分げつの発生は多い、こしいぶきなどの早生品種でも、コシヒカリと同様に分げつの発生が多い。(長岡農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(南魚沼) 高温により生育の進みは早く、分げつの発生は順調。(南魚沼農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(上 越) 「コシヒカリ」の生育は好天に恵まれ進んでおり、葉数は多い状況。生育過剰による品質低下につながる恐れがある。「こしいぶき」の生育も同様に、葉数が多い状況となっている。(上越農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(糸魚川) 6月中旬頃までの田植えのほ場では、葉数が指標値よりかなり多くなっている。5月下旬補えのほ場でも、分げつが順調に発生していると思われる。(糸魚川地域振興局農林課 6月10日付)</p> <p>(佐 渡) 連休補えのほ場や風の影響が少ないほ場などは、葉数が過剰になっている。(佐渡農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(新発田) 【新発田管内のコシヒカリ生育状況】 好天が続く葉数が増加している。(新発田農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(新潟) 【生育調査結果(6月10日調査)】 コシヒカリの生育状況は指標値に比べて、草丈「並み」、葉数「多」、葉数「やや早い」、葉色「並み」。こしいぶきはコシヒカリと同様の傾向、新之助は移植時期による生育差が大きく、葉数は並～少。(新潟農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(岩 船) 6月上旬の高温多照で生育が旺盛になっている。コシヒカリでも中干し適期に達しているほ場がみられる。(村上農業普及指導センター 6月10日現在)</p> <p>(巻) コシヒカリ、こしいぶきともに、生育は指標値より2日程度進んでいる。(巻農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(柏崎) コシヒカリは高温多照で推移したことから生育早く、分げつの発生も多い、こしいぶきは葉数過剰となっているほ場もみられる。(柏崎農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(十日町) 生育は平年より早く進んでおり、特に葉数が多くなっている。(十日町農業普及指導センターほか 6月10日付)</p> <p>(上越東) 【生育概況(平坦地のコシヒカリ 6/1現在)】 田植え後の活着は並、田植え後の低温、日照不足の影響で分げつ発生は緩慢。葉数の進んだ苗が移植されたことから葉数(生育の進み)は指標値に比べ早くなっている。(上越東農林事務所 6月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少傾向にある。また、県では新品種「新之助」の作付拡大を推奨している。
富山	<p>【本田での生育状況(てんたかく)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べて草丈はやや長く、葉数はかなり多く、葉齢はかなり進んでいる。葉齢を揃えて比較すると草丈、葉色は平年並み、葉数はかなり多くなっている。 <p>(コシヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べて草丈、葉齢は並み、葉数は多くなっている。葉齢を揃えて比較すると草丈、葉数、葉色は平年並みとなっている。 <p>(てんこもり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べて草丈、葉齢は並み、葉数はかなり多くなっている。葉齢を揃えて比較すると草丈はやや短く、葉数はかなり多く、葉色は平年並みで推移している。 <p>(富富富)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年に比べて草丈は並み、葉数は多く、葉齢はやや進んでいる。葉齢を揃えて比較すると草丈、葉数、葉色は近年並みで推移している。 <p>(富山県 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、高温多照でも品質が安定している「てんこもり」「富富富」が増加傾向にある。
石川	<p>【本田の生育6月8日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 【ゆめみづほ】 葉齢展開は平年並で、草丈は葉齢展開に見合った長さ、葉数は平年の葉齢展開に比べてやや多くなっている。 【コシヒカリ】 葉齢展開は平年と比べ1～2日程度早い、草丈、葉数のいずれも葉齢展開に見合った生育量となっている。 【ひやくまん穀】 葉齢展開は近年と比べ3日程度早く、草丈は葉齢展開に見合った長さ、葉数は近年の葉齢展開に比べて多くなっている。 <p>(石川県農林総合研究センター 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。
福井	<p>【6月4日調査】</p> <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水稲の生育は草丈がやや長く、葉数はやや少なめに経過している。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」が減少傾向、「あきさかり」が増加傾向にある。なお、新品種である「いちほまれ」も増加傾向にある。
長野	<p>(育苗・田植)</p> <ul style="list-style-type: none"> 育苗は、5月上旬から気温が高く推移したことから、一部で高温によるヤケが発生したものの、全般に大きな問題はなかった。 田植えは5月10日から開始。最盛期は5月24日頃と推測され、平年より3日、前年より1日早い状況 <p>(北信農業農村支援センター 5月25日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。
滋賀	<p>【農業技術振興センター水稲作況調査(6月1日時点)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈は、「みずかがみ」が平年並、「コシヒカリ」が平年より短かった。 葉数は、両品種ともに平年より少なかった。 移植後の強風により活着がやや遅れたことに加え、5月第四半旬の最高気温が低く、第四～五半旬が日照に経過したことから、初期生育は緩慢であった。 <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月11日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は兵並が高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」「キヌヒカリ」が減少傾向となっている。高温多照性に優れた「みずかがみ」を増加させる計画がある。
兵庫	<p>(県北) 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(県南) 苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県 6月4日付)</p> <p>(育苗・生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は兵並が高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすぶ」の作付推進を図っている。

生育状況等			
岡山	<p>・中北部地帯の田植え時期、生育概況は概ね平年並である。 (生育) (岡山県 5月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】 中国地方の向こう1か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。近年「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】 中国地方の向こう1か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「あきさかり」が増加傾向にある。</p>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
高知	<p>【早期米の出穂期予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南園そだち」6月18日±3日 (4月5日移植) ・「よき恋人」6月26日±5日 (4月4日移植) ・「コシヒカリ」7月2日±7日 (4月11日移植) <p>(生育) (中央西農業振興センター 高知農業改良普及所 6月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<p>・早期栽培では「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年、高産多収性に優れた「よき恋人」が増加傾向にある。「南園そだち」は減少傾向。</p> <p>・普通栽培では「にこまる」が増加傾向にある。</p>
福岡	<p>【6月1日現在】</p> <p>(1) 早生米種(夢つくし、コシカ) 田植え後、高温で経過したため生育は順調。暖冬の影響で、一部地域ではスクミリンゴガイによる被害が発生している。 4月下旬植は、田植え後40日頃に有効茎数が確保され、6月5日頃に中干し開始時期となる見込み。</p> <p>(田植・生育) (2) 普通期水種(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) 田植えは、山ろく地では5月中旬から、夏の作付けがない平地地では5月下旬から開始。好天で経過したため、苗質は良く、田植え後の活着も良好。平地地の田植えは、「夢つくし」が6月上旬、「元気つくし」が6月中旬、「ヒノヒカリ」が6月下旬、「実りつくし」が6月中旬にピークとなる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 6月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後、新品種「実りつくし」の拡充を推奨している。</p>
熊本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</p>
宮崎	<p>【作物の生育状況 (5月中旬)】</p> <p>(生育) ・早期水種は分けつ期 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月22日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</p>
鹿児島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月13日～7月12日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「なつほのか」及び「あきほなみ」が増加傾向にある。</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和2年6月16日14時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月2日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月2日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月2日)、
農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月2日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月2日)、
作況調査報告(6月10日現在の生育状況)(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月10日)、
令和2年度水稲生育定期調査結果№1(6月5日現在)(岩手県農業研究センター 6月8日)、
令和2年度水稲の生育状況について(6月10日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 6月11日)、
令和2年度美里地区の稲作情報第3号(宮城県美里農業改良普及センター 6月12日)、
令和2年度大崎稲作情報第2-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月11日)、
栗原の稲作通信令和2年第2号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月12日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月15日)、
つや姫だより第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月15日)、
西村山地域雪若丸だより第2号(西村山農業技術普及課 6月12日)、
つや姫・雪若丸通信第1号(村山農業技術普及課 6月12日)、
令和2年第1号西おきたま雪若丸だより(西置賜農業技術普及課 6月12日)、
北村山のおいしい米づくり情報雪若丸だより 聖数確保編(北村山農業技術普及課 6月12日)、
主要な農作物の生育情報令和2年度第3号(福島県農林水産部 6月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月2日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月11日)、
令和2(2020)年度水稲生育診断予測事業速報№2(栃木県 6月10日)、
水稲の生育と当面の対策第2報(千葉県 6月3日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第2号)(新潟県 6月11日)、
令和2年度水稲生育速報№2(新発田農業普及指導センター 6月10日)、
水稲生育速報№2(巻農業普及指導センター 6月10日)、
FAX稲作情報№4(三条農業普及指導センター 6月10日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月10日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報№2(6月10日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月10日)、
稲作管理情報第5号(柏崎農業普及指導センター 6月10日)、
コシヒカリ・こしいぶき生育速報(6月10日)(上越農業普及指導センター)、
令和2年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報№2(糸魚川地域振興局 6月10日)、
令和2年度稲作生育速報№2(佐渡農業普及指導センター 6月10日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センターほか 6月10日)、
上越地域米水稲生育速報(6月1日調査)(上越東農林事務所 6月1日)、
稲作速報№2(新潟農業普及指導センター 6月10日)、
岩船米生育速報(6月10日現在)(岩船農業普及指導センター)、
TACS情報第3号(富山県 6月9日)、
令和2年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月8日調査)、
稲作情報№6(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月4日)、
農作物生育概況(北信農業農村支援センター 5月25日)、
令和2年度水稲生育診断情報№1(滋賀県農業技術振興センター 6月11日)、
令和2年度兵庫県農業気象技術情報№2(6月情報)(兵庫県 6月4日)、
令和2年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 5月28日)、
早期米生産農家の皆様へ(中央西農業振興センター 高知農業改良普及所 こうち農業ネット 6月16日付)、
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月1日現在)、
令和2年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月22日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月11日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月11日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月11日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月11日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月11日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月11日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月11日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月11日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月4日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月25日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月25日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月25日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月25日鹿児島地方気象台)、

令和2年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月17日)